



2025.2.28 第36号

森田 博

6年生「地球に生きる」
滋賀県 MLGs と SDGs
ガンプラで環境学習



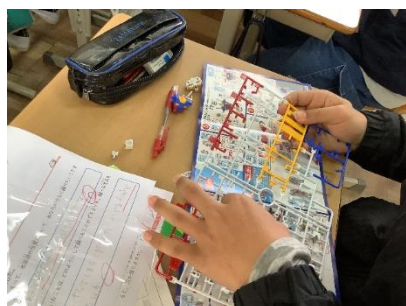
ガンプラリサイクルプロジェクトに参加し環境学習をスタート!!

6年生の最後の学習は、「地球に生きる」です。今日まで学習してきたことを総合的に活用し、地球の環境問題について真剣に考えていきます。まずは、ガンダムのプラモデルを教材化し、プラスチックのリサイクルプロジェクトに参加をしながら学習を始めました。

このガンプラの教材は、「バンダイナムコ」さんと学校支援団体「よのなか学」さんとのコラボ企画で、4月に応募し、運よく決められた配付校数内に入れ、教材を無料でいただけることになりました。これはありがたいし、ガンダムのプラモデルを作りながら、環境問題について学べるなんてすごく魅力的。6年生最後の理科にふさわしく、嬉しい教材が届きました。

6年児童の中には、プラモデルを初めて経験する子、ガンダムそのものを知らない子もいて、とても新鮮で、作り始める児童はすぐにとりかかり、夢中になっていました。

6年生です。説明書を見て、どんどん組み立てられました。



トライアルキットと呼ばれ、企業が学校教材向けに無償提供しているものなので、サイズは、とても小さく手のひらサイズ。しかし、細かい作業にもかかわらず、簡単に数十分ほどで一気に完成させた子もいました。

さて、このガンプラがどうして環境問題を考えるきっかけになるのかというところ…。左の写真。私です、彦根のピバシティへ行ってきました。こちらには、プラモデルを作り終わった後にでる「ランナー」と呼ばれるプラゴミを回収するBOXが設置されています。全国のナムコのゲームセンターに置いてあるようで、南郷里小学校から一番近い場所が彦根でした。

SDGsの17の目標のうちの一つ「12 つくる責任・つかう責任」が、このプロジェクトの目的でもあります。プラモデルを作り、売れば売るほどプラスチックごみも増えます。再利用できるしくみを作れば、ごみは減り、つくる会社もつかう私たち消費者も地球環境に優しく取り組めるといわけです。



この教材には、工場見学を体験しているような動画コンテンツもあり、プラモデルの製造過程や、リサイクル工程、ガンプラリサイクルプロジェクトの概要が分かりやすく学べました。

今後は、自分でできるSDGsについてそれぞれに課題を設定し、環境問題について調べていきます。

